

藤浪鑑

ふななみ けん

病理學者、醫學博士。明治二十一年十一月、二十九日尾張國

名古屋生れ、昭和九年十一月十八日歿（一八七〇—一九三三）。幼名鑿平八郎。

號五洋、素鈔子。明治二十八年帝國大學醫科大學卒。ドイツ留學後、

京都帝大教授。大正七年日本往血吸蟲病の研究により帝國學士府賞受

賞。またドイツ文學の造詣深く、ゲーテ研究者でもあった。醫史學者

藤浪剛たけなみ 剛の兄。

『藤浪鑑撰集』（天野重安編、昭和二十二年八月十五日南江堂出版株式

會社「南江堂醫學文庫」、他）二十五頁附「南江堂文庫」と標記した

版がある。出版。清野謙次編『藤浪先生追悼録』（昭和十年十一月十

八日京都・人文書院）刊。

